

新宿駅周辺防災対策協議会の取り組みについて

新宿駅周辺防災対策協議会

1 概要

(1) 設立目的

- ・ 新宿モデルの推進によって震災時の混乱防止と新宿駅周辺地域の都市機能維持を実現し、安全・安心して住み・働き・学び・集うことができるまちを目指す
- ・ 新宿駅周辺の企業、商業・集客施設事業者、商店街、大学、鉄道交通機関、ライフライン関係機関、警察、消防及び区等で構成（約 70 団体）

(2) 主な活動経緯

2007 年 6 月 新宿駅周辺滞留者対策訓練協議会を設立

2008 年 1 月 都モデル事業として新宿駅周辺滞留者対策訓練を実施（以降、官民が連携して帰宅困難者対策訓練や医療救護訓練など実践的な訓練を継続して実施）

※2008 年 防災隣組育成促進モデル事業（内閣府）に採択

※2008 年 西口現地本部設置に関する協定を締結（新宿区、工学院大学）

2009 年 3 月 「新宿ルール」を策定（自助・共助・公助の行動の基本原則）

2009 年 4 月 新宿駅周辺防災対策協議会に名称変更

2011 年以降 東日本大震災の経験とこれまでの活動実績を踏まえ「新宿モデル」（図 1）を提案
新宿モデルの実現に向けて新宿駅周辺都市再生安全確保計画を策定

（2013 年度：西口地域、2014 年度：東口地域へ拡充、2015 年度から事業推進）

※2012 年 防災・減災対策の相互連携、帰宅困難者受入に関する協定を締結

（新宿区、工学院大学）

※2013 年 第二回東京防災隣組（東京都）に採択



図 1 新宿モデルの概念図

2 地域事業者の防災リテラシー向上のための人材育成の取り組み

(1) 人材育成プログラムの考え方 (図2)

①新宿モデルの構築に必要な知識を系統的に学ぶ講座、②講座で学んだ知識を実践する実習、③講座・実習で習得した知識・実践力を総合的に検証し対応力を身につける訓練で構成し、PDCAのサイクルにより継続して実施することで、地域事業者の防災リテラシーを向上させることを目指す。

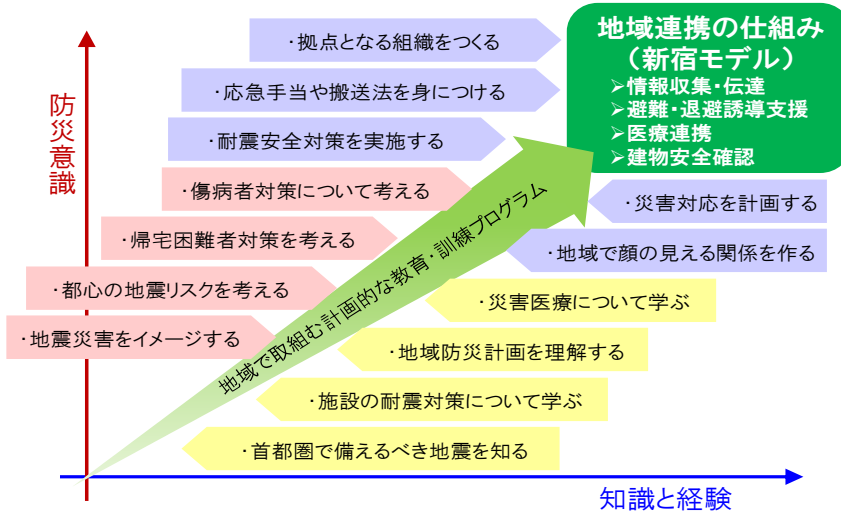


図2 地域事業者の防災リテラシー向上のための人材育成プログラムの概念図

(2) 人材育成プログラムの実践事例

①新都心の地域減災セミナー (2009年度～2010年度) (図3、表1、表2)

22年 新都心の地域減災セミナー

※下記写真等は昨年度(021年度)の記録をイメージとして使用したものです。

施設管理者・防災管理者のための実践的セミナー

工学部大学、文部科学省・新発想ニューズ対応プログラム「首都圏下地帯に備える施設管理者への防災対策および都市復興マネジメント教育プログラム」の助成を受け、学外有識者を迎えたBCPプログラム開発委員会を決定し、平成21年度より防災管理者等を対象とした「新都心の地域減災セミナー」を開催イベントなどを実施しています。

本セミナーでは、超高層建築など大規模建築物の震災対策(耐震計画への対応など)を本学などの事例を交えて講習を行うとともに、セミナーを通じて、随の見える地域防災ネットワークづくりとDCP(District Continuity Plan)を推進しています。

プログラムのねらい

- 建物や周辺地域の震災を知り、現実的な被害想定を行う
- 工科大学新宿校舎を教材とした防災計画・震災対策の具体的な立案と改善方法を知る
- 超高層建築である工科大学新宿校舎を具体的な教材とし、建築の構造・建築設備・防災施設から緊急時対応組織や備品・マニュアル、防災計画の立案や防災訓練への参加など、震災対策の立案と改善方法を学びます。
- 新宿駅周辺地域を知り、震災時に協働できる体制づくりを行う

大震災では自然による震災対策に加え、地域の自治体や事業者などの共助による協働体制づくりが重要です。本セミナーでは新宿駅周辺地域の震災対策の現状を知り、地震防災訓練への参加など、地元の協働体制づくりに参加します。

セミナー (カリキュラム詳細は裏面をご参照ください)

1時限：講義
2時限：演習

※資料 震災対策のための解説シートに加え、各メディアや専門機関が作成した映像やアニメーションから効果的なシフトを使用して被害をイメージ化します。

※資料 震災対策のための解説シートに加え、各メディアや専門機関が作成した映像やアニメーションから効果的なシフトを使用して被害をイメージ化します。

※資料 震災対策のための解説シートに加え、各メディアや専門機関が作成した映像やアニメーションから効果的なシフトを使用して被害をイメージ化します。

「顔の見えるネットワークづくり」とは?

防災に関する有識者で構成されるBCPプログラム開発委員会、現在で活躍されている防災担当者である関係者、各イベント参加者など防災にかかわる様々な分野の方々が、本プロジェクトを通して、実際に顔と顔を合わせて、つながりを持ち、地域でネットワークをつくります。最終的には、個々の防災計画が地域と連携するコミュニティを形成し、いざという時、協働で、個々の専門性を生かせる実行可能なネットワークの構築を目標とします。

具体的なBCP(District Continuity Plan)開発委員会、地域防災コミュニティの形成、地震防災訓練参加、協働体制づくり、災害時の被害を軽減する、協働体制づくり、協働を対象とした共助による取り組み

BCPプログラム開発委員会(学・産・官・学)

地震防災訓練(平成22年10/5)

本学が新宿区、東京医科大学、地域事務所・団体等と連携して行う地震防災訓練に参加いただけます。新宿駅周辺を対象とした広範囲の被害想定、他大学の広域連携、医療機関と連携した多数傷病者対応や、ボランティア活動も込み、実際に同時多発すると予測される様々な被害を想定して行います。またイベントや展示等では、消防・警察機関と連携して体験型訓練の実施などを行います。

各イベント・シンポジウム

セミナー以外にも、防災・減災に関わるイベントの実施を予定しています。

(下) 東京医科大学・地域事務所・団体等との連携による「防災・減災シンポジウム」を開催予定です。各分野の専門家によるシンポジウム開催を予定。今後の指針についても報告します。

図3 新都心の地域減災セミナーの概要

(2010年度版リーフレット、<http://www.kogakuin.ac.jp/another/bcp/>)

表1 2009年度新都心の地域減災セミナー内容（新都心の地域減災セミナー報告書(平成20-22年)より）

日程	講義・演習の内容	参加人数
イベント 6/17 16:20-18:00	プレワークショップ 基調報告 ・「大地震を受ける超高層建物の被害様相－E-Defense 振動台実験－」（E-ディフェンス）：長江氏 ・「工学院大学の防災活動の取組みについて」：村上氏 ほか ＜メイン講師＞久田嘉章 村上正浩 ＜ゲスト講師＞ 長江拓也(防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター)	92名
セミナー 第1回 7/8	都市と大震災：震災時に街や建物はどうなるのか、具体的なイメージを持つ ○1時限：震災から学ぶ都市の大震災： 1. あいさつ・セミナー趣旨・概要、講師・委員紹介：久田氏 2. 震災から学ぶ都市の大震災：阪神・淡路大震災で何が起きたか ・被害の全体像・イメージ映像：久保氏、児島氏 ・地震と建物被害の特徴と教訓：久田氏 ・都市機能・生活被害と教訓：村上氏、秦氏 3. 質疑・議論・補足 ○2時限：参加者の自己紹介・自社の震災対策の現状・首都直下地震で自社・新宿地域はどうなるか、など 1. 参加者の自己紹介 2. 議論 3. 課題説明 4. アンケート調査・図上演習・見学会参加確認など ＜メイン講師＞久田嘉章 村上正浩 ＜ゲスト講師＞久保智弘（ABSコンサルティング・インク）、児島正（㈱損保ジャパン・リスクマネジメント）、秦好子（東京ガス㈱）	47名
セミナー 第2回 7/22	首都圏の震災想定と対策の現状：（共助・地域連携の重要性を知る） ○1時限：国・自治体・ライフライン施設・医療機関等の現状と対策 1. 今日の趣旨：村上氏 2. 国・都・区の震災想定と対策：秋広氏 ライフライン施設の震災想定と対策：大橋氏 通信の震災想定と対策：相川氏 災害時に有用な医学的知識：太田氏 3. 質疑・議論・補足 ○2時限：新宿駅周辺地域を中心とした地域連携について：藤林氏 1. 参加者による課題発表 2. 議論 3. 課題説明 4. アンケート調査など ＜メイン講師＞村上正浩 ＜ゲスト講師＞秋広幸男（東京都）、藤林文男（新宿区）、大橋一正（工学院大学）、相川芳春（東日本電信電話㈱）、太田祥一（東京医科大学）、山本俊六（鉄道総合技術研究所）、長浜誉佳（国立国際医療センター）	42名
イベント 8/19	見学会：シミズ・オープン・アカデミー（13：30～17：30） 清水建設（株）技術研究所の見学 ＜ゲスト講師＞横田治彦（清水建設㈱）	53名
イベント 9/2	上映会：四川大地震記録映画「風を感じて」の上映と制作者：黄氏 ＜ゲスト講師＞黄淑柔（㈱順発貿易公司）	34名
セミナー 第3回 9/2	超高層建築など大規模建物の震災想定と対策：（主としてハード対策） ○1時限：高層建物の震災とハード面での対策（講義） 1. 今日の趣旨 2. 首都圏で想定される地震動：久田氏 3. 高層建物の構造と震災対策（新宿校舎など）：山下氏 4. 高層建物のエレベータ・2次部材・什器と震災対策（E-Defense、新宿校舎など）：久保氏 5. 高層建物の設備と震災対策：大橋氏・田中氏 6. 施設見学の説明・質疑・補足 ○2時限：高層建物の被害とハード面での対策：大橋氏、田中氏、江川氏 1. 新宿校舎の施設見学：屋上（高置水槽、エレベータ機会室）、25階（スプリンクラ配管(天井裏)、20階（空調機械室）、B3階（機械室(受水槽、ポンプ等)）、特高変電室、自家発電装置 2. 参加者による課題発表と議論	39

	<p>3. 課題説明 4. アンケート調査など</p> <p><メイン講師>久田嘉章 <ゲスト講師>山下哲郎(工学院大学)、久保智弘(ABSコンサルティング・インク)、大橋一正(工学院大学)、田中孝(有タナカ建築設備)、江川敦(工学院大学)</p>	
<p>セミナー 第4回 9/16</p>	<p><u>超高層建築など大規模建物の震災想定と対策：(主としてソフト対策)</u> ○1時限：高層建物の震災とソフト面での対策(講義) 1. 今日の趣旨：村上氏 2. 消防・防災計画について：秦氏・三好氏 3. 新宿校舎の初動対応対策：久保氏 4. 施設見学の説明・質疑・補足：村上氏 ○2時限：高層建物の震災とソフト面での対策(見学・議論) 1. 新宿校舎の施設見学：防災施設(消火栓・非常電話・緊急地震速報・リアルタイム防災システムなど)、事務室(IP電話・無線)、備蓄、防災センター・警備室、災害対策本部、ICカード読取装置など 2. 参加者による課題発表と議論 3. 課題説明 4. アンケート調査・防災訓練参加確認など</p> <p><メイン講師>村上正浩 <ゲスト講師>秦好子(東京ガス株)、三好勝則(工学院大学)、久保智弘(ABSコンサルティング・インク)</p>	35名
<p>セミナー 第5回 9/30</p>	<p><u>超高層建築など大規模建物の震災想定と対策：(地域連携と防災訓練)</u> ○1時限：地域連携と超高層建物の防災訓練(講義) 1. 今日の趣旨：久田氏 2. 昨年度の工学院大学の防災訓練：村上氏 3. 今年度の工学院大学の防災訓練：村上氏 4. 今年度のエステックビルの防災訓練：伊藤氏 5. 新宿駅周辺地域の防災訓練：藤林氏 6. 質疑・補足 ○2時限：10/15の防災訓練について(議論) 1. 参加者による課題発表と議論 2. 10/15の防災訓練への参加・検証：グループ分け・分担など 3. アンケート調査など</p> <p><メイン講師>久田嘉章、村上正浩 <ゲスト講師>藤林文男(新宿区)、伊藤隆文(エステック株)</p>	38名
<p>セミナー 第6回 10/15 13:00-17:00</p>	<p><u>防災訓練参加：(主催：新宿駅周辺防災対策協議会、ほか各ビル)</u> ○防災訓練参加・検証(実技) ・新宿校舎の発災対応型訓練(各階対応・避難・安否確認・傷病者・情報集約) ・防災センター・災害対策本部・西口現地本部活動など(評価シート用意) ○課題(訓練検証報告)の説明・アンケート調査など</p>	170名
<p>セミナー第 7回 11/4</p>	<p><u>今後に向けて：(訓練評価の報告・反省、次年度に向けた課題・改善など)</u> ○1時限：防災訓練の検証結果報告(議論) 1. 今日の趣旨：久田氏 2. 各グループからの報告・議論 3. 質疑・補足 ○2時限：今後に向けて・課題の改善(議論) 1. 伊勢丹における防災計画と総合防災訓練の事例報告：熊谷氏 2. 森ビルにおける防災計画と総合防災訓練の事例報告：峰崎氏 3. 海外の安全管理の事例：村上氏 4. その他</p> <p><メイン講師>久田嘉章 村上正浩 <ゲスト講師>峰崎善次(森ビル株)、熊谷毅志(株伊勢丹)</p>	46名
<p>イベント 12/12</p>	<p>国内シンポジウム：新都心の地域減災シンポジウム <報告者・パネリスト> 中山弘子(新宿区長)、佐藤正敏(損害保険ジャパン)ほか</p>	約200名
<p>イベント '10/1/30</p>	<p>国際WS：新都心における多文化共生都市と震災対策に関するワークショップ <報告者>田村太郎(多文化共生センター大阪)、山崎朱美(日本国際協力センター)ほか</p>	約100名

表2 2010年度新都心の地域減災セミナー内容（新都心の地域減災セミナー報告書(平成20-22年)より）

日程	講義・演習の内容	参加人数
イベント 5/11 (14:00-18:00)	財団法人都市防災研究所共同開催 災害医療のためのDCP（District Continuity Plan）～帰宅困難と治療困難～お茶の水・新宿をモデルとして	215名
セミナー 第1回 5/25	<u>新宿地域・高層建築で想定される地震被害と対策（自助・ハード対策）</u> □1時限： ・大規模震災時における超高層ビル街の物的・人的被害：久田氏 ・超高層ビル内の室内被害とそれが及ぼす人的被害の推定：久保氏 ・質疑 □2時限： ・人的被害を軽減するための室内被害対策：江原氏 ・事業者による室内被害対策の事例紹介：伊藤氏 ・意見交換「事業所の室内被害対策を進めるために」 ・課題「自社ビルの被害想定と対策」、事務連絡 ＜コーディネーター＞村上正浩 ＜講師＞久田嘉章（工学院大学）、久保智弘（工学院大学）、江原信之（東京消防庁）、伊藤隆文（エステック（株））	54名
セミナー 第2回 6/8	<u>大規模建物の消防計画と総合防災訓練（自助・ソフト対策）</u> □1時限： ・前回セミナーの復習：久田氏 ・改正消防法に基づく消防計画の改善・見直しと消防訓練について：山田氏 ・質疑 □2時限： ・改正消防法をふまえた本社ビルの総合防災訓練のご紹介：細山田氏、高萩氏 ・工学院大学の防災の取組みについて：田村氏 ・意見交換「改正消防法による事業者の現状と課題」 ・課題「自社ビルの消防計画・総合防災訓練の2010年度の訓練計画」 ＜コーディネーター＞久田義章 ＜講師＞久田嘉章（工学院大学）、山崎文徳（（財）消防科学総合センター）、細山田誠二（㈱損害保険ジャパン）、高萩悦雄（㈱損害保険ジャパン）、田村省三（工学院大学）	53名
セミナー 第3回 6/29	<u>震災時の救急災害医療（公助）</u> □1時限：前回のセミナーの復習 ・東京都による災害医療体制：田中氏 ・新宿区における災害時医療救護活動：平井氏 ・質疑 □2時限：阪神・淡路大震災の経験 災害医療の教えてくれたこと：金芳氏 ・意見交換 「災害医療における公助の限界と自助・共助による災害医療体制の必要性」 ・課題「自社ビルの救急災害医療体制の現状」、事務連絡 ＜コーディネーター＞村上正浩 ＜講師＞村上正浩（工学院大学）、田中誠人（東京都福祉保健局）、平井光雄（新宿区危機管理室）、金芳外城雄（神戸学院大学）	43名
セミナー 第4回 7/20	<u>新宿駅周辺地域と地域連携（自助と共助）</u> □1時限： 前回のセミナーの復習「事業所の応急救護の取組みなど意見交換」 ・平成21年度渋谷駅周辺滞留者対策訓練の報告：伊藤氏 ・応急手当について：田中氏 ・質疑 □2時限： ・災害時の医療のあり方 ※傷病者の応急処置方法等の実演有：太田氏、長浜氏 ・10月5日地震防災訓練の概要説明：新藤氏 ＜コーディネーター＞久田義章 ＜講師＞伊藤宏（渋谷区危機管理対策部）、田中真人（日本赤十字社）、太田祥一（東京医科大学）、長浜誉佳（国立国際医療研究センター）、新藤淳（（株）NKSJ リスクマネジメント（旧損保ジャパン・リスクマネジメント）） ○懇親会 ・意見交換「地域が連携した災害医療体制の構築に向けて」	45名
セミナー 第5回	<u>10月5日（火）地震防災訓練の概要について</u> □1時限：	41名

9/7	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のセミナーの復習 ・大規模ターミナル駅周辺の地震防災対策：上村氏 ・質疑 □ 2 時限： ・ 10 月 5 日（火）地震防災訓練の概要について ・新宿駅西口地域の地震防災訓練について：伊藤氏 ・新宿区の過去 3 年間の共助、公助の訓練総括の説明：平井氏 ・地域連携による訓練の重要性（DCP）と平成 22 年度の訓練概要：鱒沢氏、新藤氏 ・参加企業による訓練概要報告 <ul style="list-style-type: none"> ①工学院大学：田村氏 ②エステック情報ビル：伊藤氏 ③住友不動産ビル(複数)：小泉氏 ④新宿センタービル：佐久間氏 ・応急救護所における傷病者対応訓練：鱒沢氏 ・新宿西口現地本部訓練：新藤氏 ・10 月 5 日地震防災訓練への参加または検証の確認、事務連絡など 	
	<p>＜コーディネーター＞村上正浩 ＜講師＞上村淳司（東京都総務局）、平井光雄（新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会・新宿区）、鱒沢曜（新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会・(株)イー・アール・エス）、新藤淳（新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会、(株)NKSJ リスクマネジメント(旧損保ジャパン・リスクマネジメント)）、田村省三（工学院大学）、伊藤隆文（エステック(株)）、佐久間徹（新宿センタービル管理(株)）</p>	
イベント 9/21 (火)	<p>応急救護講習(10:00-18:00、日赤東京都支部) 震災時に想定される傷病者対応に焦点をあてた応急手当法・搬送法の実習 ＜協力・講師＞日赤東京都支部</p>	23 名
セミナー 第 6 回 10/5	<p>総合防災訓練・地域防災訓練への参加・検証（実技） □防災訓練参加・検証 ・各事業所の消防計画に基づいた地震防災訓練 ・新宿西口現地本部訓練 ・多数傷病者対応訓練 ・防災イベント □課題（訓練検証報告）の説明・アンケート調査など</p>	52 名
セミナー 第 7 回 10/26	<p>主催：新宿駅周辺防災対策協議会 <u>防災訓練の検証と今後の展開に向けて</u> □ 1 時限：10/5 防災訓練の報告 ・訓練の報告 全体概要説明：村上氏 全体報告（1）：伊藤氏 全体報告（2）：平井氏 西口現地本部訓練報告〔西口現地本部〕：新藤氏 多数傷病者対応訓練報告〔医療救護所〕：鱒沢氏 訓練報告：田村氏 訓練報告：小泉氏 ・訓練参加者・検証者からの報告・質疑 □ 2 時限：今年度のセミナーを振り返って ・今年度のセミナーの概要：久田氏 ・負傷者推定結果と対策：久保氏 ・今後の展開（事前対策から復旧・復興まで）に向けて 次年度訓練 新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会・新宿駅西口地域防災対策研究会・新宿駅西口地域応急救護研究会について 今後の展開について：地域災害医療体制、BCP/DCP、エリアマネジメントほか ・総括、報告会など ・セミナーの感想・今後に向けての意見 ・事務連絡</p> <p>＜コーディネーター＞久田嘉章 ＜発表者＞村上正浩（工学院大学）、伊藤隆文（(株)エステック）、平井光雄（新宿区危機管理室）、新藤淳（新宿駅周辺防災対策協議会、(株)NKSJ リスクマネジメント）、鱒沢曜（新宿駅周辺防災対策協議会・(株)イー・アール・エス）、田村省三（工学院大学）、小泉雅一（住友不動産）、久田嘉章(工学院大学)、久保智弘(工学院大学)</p>	47 名
イベント 11/25	『首都直下地震に備える施設管理者への減災対策および復旧復興マネジメント教育プログラム』報告会	180 名

表3 2012年度新宿駅周辺防災対策協議会セミナー内容

	出席者数	題目	講師	目的
第1回 セミナー (8/7)	87	災害対応における企業の法的リスクと事業者等の連携による地域防災	中野明安氏	応急救護活動や民間施設における帰宅困難者の受入れなど災害対応における法的リスクについて理解し、事業者や行政に求められる対策について考える。
第2回 セミナー (8/22)	44	首都直下地震等による東京の被害想定	中林一樹氏	地域防災計画等の前提条件となる東京都の被害想定の内容について理解し、地域における具体的な対策課題を考える。
第3回 セミナー (10/4)	37	地震時にオフィス・ビル内では何が起きる?	鱒沢 曜氏 水村一明氏	事業所内での被害の軽減のため、長周期地震動などによるオフィス内の揺れや被害の特徴および対策の考え方等について理解するとともに、自社における家具・什器類等の耐震点検方法についても学ぶ。
第4回 セミナー (10/10)	29	オフィス・ビル内の耐震対策方法は?	鱒沢 曜氏 五野克昭氏 中野善仁氏	オフィス家具・什器類の具体的な固定方法等に関するデモンストレーションを実施し、自社における耐震点検結果と照らし合わせて対策に役立てる。
研修会 (11/1)	39	トリアージ研修会 (医療者向け)	太田祥一氏 武田宗和氏	①一次トリアージ(START式)をマスターする。②二次トリアージを体験する。
第5回 セミナー (11/22)	32	オフィス・ビル内の防災点検マップを作成する	村上正浩氏	大規模地震への平常時の備えとして、自社事業所内を点検し、防災上の特性や防災資源等を図面に落とし「点検マップ」の作成の考え方を習得する。
第6回 セミナー (11/29)	27	オフィス・ビル内で起きる地震被害を想定する	村上正浩氏	大規模地震発災時に、自社内及び自社周辺において発生し得る「被害」について、グループディスカッション等を交えて検討を行い、災害時の状況をイメージする能力を養う。
講習会 (12/6)	14	災害時応急救護リーダー養成講習会	田中真人氏 安藤晴実氏 安田不二夫氏	自社における応急救護などの災害対応をリードし傷病者を適切に医療者に引き継ぐために必要な知識と技能を習得する。
第7回 セミナー (12/20)	26	ビルの地震直後の継続使用性を判断する	鱒沢 曜氏 諏訪 仁氏 久田嘉章氏	超高層ビルにおける建物被災モニタリング事例の見学、および訓練に用いる建物継続使用判定の演習を行う。
講習会 (1/10)	47	応急救護講習会	田中真人氏	傷病者に接し、応急手当、観察および搬送を行うために必要な基礎知識と技能を習得する。

表4 2013年度新宿駅周辺防災対策協議会セミナー内容

	出席者数	題目	講師	目的
総会講演 (5/22)	115	中心市街地における効果的な災害対応とそのための組織づくり	林 春男氏	個々の組織の事業継続能力（レジリエンス）の保持と地域全体で協力した災害に負けない社会づくり。
第1回 セミナー (6/26)	53	災害対応を効果的に実践するための戦術・トレーニング	熊丸由布治氏	ICS を活用した組織づくりの有効性と自衛消防組織への適用について学ぶ。
第2回 セミナー (7/24)	62	消防法の改正と自衛消防隊の組織づくり	松村保雄氏 平本隆司氏	改正消防法の内容および自衛消防隊の組織づくりに関する具体例を学ぶ。
第3回 セミナー (9/4)	52	地震後の建物被害確認と即時使用性判定	鱒沢 曜氏 宮村正光氏 諏訪 仁氏 武居由紀子氏	地震後の建物被害確認と即時使用性判定を行い、効果的な建物被害対応の仕組みについて考える。
講習会 (9/19)	59	災害医療講習会	堀 進悟氏 太田祥一氏 武田宗和氏 佐々木亮氏	（講演）災害医療について学ぶ。（トリアージ研修会）一次トリアージ（START 式）ができる、二次トリアージを体験する。
講習会 (10/9)	38	応急救護講習会	田中真人氏 安田不二夫氏	事業所での地震災害時の応急救護を座学と実践で学ぶ。
イベント (11/6～10)		新宿防災ウィーク 2013		様々な防災イベントを通じて地域事業者および一般市民の防災意識を高める。
第4回 セミナー (1/16)	55	平成 25 年度協議会訓練を振り返る	曾根淳子氏 鱒沢 曜氏 宮村正光氏 久田嘉章氏 村上正浩氏	平成 25 年度の訓練実施内容を振り返り、その成果と課題を検証する。
第5回 セミナー (2/26)	75	次年度の協議会活動に向けて	鱒沢 曜氏 依田育士氏 黒嶋智美氏 川島理恵氏 久田嘉章氏 新藤 淳氏 上倉秀之氏 村田宜昭氏 村上正浩氏	平成 25 年度の協議会活動を振り返り、次年度の活動に向けて話し合う。



図4 2012年度第7回セミナー（ビルの地震直後の継続使用性を判断する）の様子



図5 2012年度応急救護講習会の様子

③地域連携による地震防災訓練（2007年度～）（図6、図7）

- 2008年1月 都モデル事業として新宿駅周辺滞留者対策訓練
- 2008年10月 現地本部（図6参照）を拠点とした情報共有訓練、傷病者対応訓練
- 2009年10月 現地本部を拠点とした情報共有訓練
- 2010年10月 現地本部を拠点とした情報共有訓練、傷病者対応訓練
- 2012年2月 東京都総合防災訓練の一環として、現地本部を拠点とした情報共有訓練、傷病者対応訓練
- 2013年1月 傷病者対応訓練（高層ビルの救護所および地域の医療救護所）、建物被害対応訓練、高層ビルの防災センターを拠点とした情報共有訓練、現地本部を拠点とした情報共有訓練（東口・西口地域および東京駅ほか）
- 2013年11月 傷病者対応訓練（高層ビルの救護所および地域の医療救護所）、建物被害対応訓練、高層ビルの防災センターを拠点とした情報共有訓練、現地本部を拠点とした情報共有訓練、帰宅困難者誘導訓練、新宿防災ウィークの開催（地震教室、女性のための防災教室、防災施設見学など）
- 2014年11月 傷病者対応訓練（高層ビルの救護所および地域の応急救護所）、建物被害対応訓練、高層ビルの防災センターを拠点とした情報共有訓練、現地本部を拠点とした情報共有訓練、帰宅困難者誘導訓練、新宿防災ウィークの開催（講演会「長周期地震動とその対策」、講演会「空を見よう」、シンポジウム「大地震時における超高層マンションの揺れと被害－東日本大震災の経験を踏まえて－）



図6 新宿駅周辺地域の災害対応拠点の分布図

(西口現地本部：工学院大学、東口現地本部：新宿区役所分庁舎)



図7 地域連携による地震防災訓練の例(2013年度)(左上・右上：西口地域・傷病者対応訓練、左中央：西口地域・建物被害対応訓練、右中央：西口地域・現地本部訓練、左下：西口地域・帰宅困難者誘導訓練、右下：東口地域・大型ビジョンによる情報発信)

3 新宿駅周辺都市再生安全確保計画の取り組み

新宿駅周辺都市再生安全確保計画（表5）は、新宿モデルに基づくハード・ソフト両面からの防災対策を充実させ、従業員等を含む滞在者の安全性と地域内企業の事業継続性を確保することにより、新宿駅周辺地域の活性化、ブランド力向上、国際競争力強化を目指す。

表5 新宿駅周辺都市再生安全確保計画の基本方針

<p>事業継続可能な環境の確保（新宿モデル：事業継続可能な環境の確保モデルに該当）</p> <p>達成目標1：建物の安全を判断する仕組みの構築 【ハード対策の実施方針】①建物モニタリングシステムの導入、②情報連絡網の構築 【ソフト対策の実施方針】①情報連絡体制の構築、②建物安全確認マニュアルの作成、③専門家による建物安全確認の支援、④建物安全確認に関する従事者の確保 【ひとつづくりの実施方針】①建物モニタリングシステムの活用方法の周知</p> <p>達成目標2：安全に待機・活動できる仕組みの構築 【ハード対策の実施方針】①事業所での備蓄の確保、②非常用電源等の確保、③備蓄倉庫等の整備、④耐震改修、⑤什器等の固定 【ソフト対策の実施方針】①事業所内待機ルールの整備と周知・啓発、②情報連絡手段の多重化、③備蓄の融通、④飲食店や小売店との協力体制の構築</p>
<p>情報収集伝達等（新宿モデル：情報収集・伝達モデルに該当）</p> <p>達成目標1：現地本部を中心として情報収集・連絡体制の構築 【ハード対策の実施方針】①情報通信網の整備 【ソフト対策の実施方針】①情報連絡体制の構築、②現地本部の運営の仕組みの確立、③備蓄体制や運用ルールの整備 【ひとつづくりの実施方針】①現地本部の運営の在り方の周知、②専門家やリーダーの育成</p> <p>達成目標2：情報伝達手段を整備し、現地本部を中心に方法及び体制の構築 【ハード対策の実施方針】①情報提供のための環境整備 【ソフト対策の実施方針】①情報連絡体制の構築、②情報提供方法の検討、③現地本部の運営システムの確立、④帰宅困難者の誘導対策 【ひとつづくりの実施方針】①現地本部の運営の在り方の周知、②専門家やリーダーの育成</p>
<p>退避誘導支援等（新宿モデル：避難・退避誘導支援モデルに該当）</p> <p>達成目標1：ビルから安全に退避できる仕組みの構築 【ハード対策の実施方針】①情報通信網の整備、②退避ルート・場所の確保、③災害時に活用する空き駐車スペースの確保、④退避誘導支援に向けた環境整備 【ソフト対策の実施方針】①ビルからの退避に関する退避誘導ルールの整備と周知・啓発、②ビルからの退避支援体制の構築等、③地域連携による退避の支援態勢の構築、④滞留車両の誘導方法の構築 【ひとつづくりの実施方針】①退避行動、退避支援の在り方の周知・啓発</p> <p>達成目標2：滞留者等への対応 【ハード対策の実施方針】①情報提供のための環境整備、②滞留者等の備蓄の確保、③非常用電源等の確保、④備蓄倉庫等の整備、⑤帰宅困難者等の受入スペースの整備、⑥耐震改修、⑦什器等の固定 【ソフト対策の実施方針】①滞留者誘導ルールの整備と周知・啓発、②備蓄の融通 【ひとつづくりの実施方針】①専門家やリーダーの育成</p>
<p>医療救護活動等（新宿モデル：医療連携モデルに該当）</p> <p>達成目標1：負傷者に対応できる仕組みの構築 【ハード対策の実施方針】①情報通信網の整備、②医療備蓄の確保、③医療スペース等の整備 【ソフト対策の実施方針】①医療従事者の確保、②医療スペースの事前指定等、③医療備蓄の運用体制の構築 【ひとつづくりの実施方針】①専門家をサポートする人材の育成</p> <p>達成目標2：災害拠点病院等で重症者に対応できる仕組みの構築 【ハード対策の実施方針】①情報通信網の整備、②医療救護所の拡充 【ソフト対策の実施方針】①地域全体での医療機能の最適配置の実現</p>
<p>平常時の対応（新宿モデルの運用）</p> <p>【ソフト対策の実施方針】①地域防災活動の地域への浸透、②現地本部の法人化の検討、③セミナー等の仕組みの構築、④継続的な地域連携訓練の実施</p>

※新宿駅周辺都市再生安全確保計画の詳細は、新宿区のHPで公開
http://www.city.shinjuku.lg.jp/azen/kikikanri01_000110.html

4 メディア掲載（表6）

表6 主なメディア掲載の例

	媒体		発刊日/放送日	掲載テーマ/内容
テレビ	NHK 総合	NHK スペシャル	2009年9月1日	「首都直下地震 見逃された危機」
		ニュース	2011年1月17日	「阪神・淡路大震災16年 防災カクライシス」
			2009年12月12日	新都心の地域減災シンポジウム
			2010年10月5日	第6回セミナー(地域防災訓練)
	東京MX	ニュース	2010年10月5日	第6回セミナー(地域防災訓練)
ラジオ	NHK ラジオ	防災の日 スペシャル	2010年9月1日	災害医療として負傷者対策の取り組み
新聞	東京新聞	朝刊	2010年8月31日	「難民から救助者へ」(地震防災訓練)
	読売新聞	朝刊	2013年12月20日	首都直下地震 被害想定 中枢マヒ官民で防ぐ 省庁 業務継続計画「合格」わずか 対策待ったなし
	建設通信新聞		2013年1月25日	西新宿にDCP構築 震災に備え地域力向上
	西日本新聞	朝刊	2014年1月15日	天神の防災語る勉強会「企業の技術 結集を」
雑誌	BosaiPlus	Vol. 1 No. 4	2010年10月15日	新宿駅西口地震防災訓練レポート
		Vol. 1 No. 11	2011年2月1日	1/25 新都心の地域減災セミナー最終評価報告会
	近代消防	5月号	2009年5月	大学発! 大規模地震対策のための研修プログラム 「新都心の地域減災セミナー」
		12月号	2009年12月	新都心の地域減災シンポジウム
	東洋経済	特大号	2009年10月3日	新宿駅周辺の取り組みの一部として
	リスク対 策.COM	Vol. 20	2010年7月25日	災害医療にとってのDCP(プレワーク)
		Vol. 22	2010年11月25日	高度利用市街地が抱える災害医療問題とその解決に向け てー新宿駅西口地域をモデルケースにしてー
日経 アーキテク チュア	特集	2010年10月25日	特集 壊れない都市 街ぐるみで地震に備える動き 建築単体では都市機能を守れない	
書籍	防災白書	平成22年度版		大学の地域防災活動への参画